

# 科 目 万葉集を読む

講師名 雲龍 櫻子

現存する日本最古の歌集「万葉集」を教材として使用します。  
万葉集についての基本的な事柄から歌の意味などを、講師作成のプリント資料を見ながら読み解いていきます。

【会場】 小岩くすのきカルチャーセンター

【曜日】 月曜日

【時間】 9:00～11:00

4～5月の日程（予定）

4月	13日	27日	
5月	11日	18日	25日

【教材費】 年額 3,000 円

【指導内容または作品名】

- ガイダンス・教科書で習った万葉歌
- 自然賛美の歌（春・夏）・「令和」について
- 万葉歌の配列の問題と歴史的背景
- 挽歌（有間皇子の歌を中心として）
- 相聞（磐乃媛の歌を中心として）・戦時中の万葉歌受容
- 東歌と防人歌（生活風俗）
- 自然賛美の歌（秋・冬）
- 山上憶良（1）子を想う歌・大宰府歌壇
- 山上憶良（2）弱者を想う歌「貧窮問答歌」
- 大伴家持（正月を祝う歌を中心として）
- 修了記念行事準備
- まとめ『万葉集』が後世に与えた影響